

ポイント

緻密なステンレス加工技術を活かし、多様化する顧客ニーズへ対応。北海道発信のメーカーとして地場の雇用創出に貢献

- 同社製造のステンレスキッチンのブランド力を向上し付加価値の底上げを実現
- 各種先端加工機により多品種少量生産にもローコストで対応が可能
- ステンレス製造の技術を活かし、多様化する顧客ニーズへ柔軟な対応を行うことで優位性を確保

企業基本情報

| | |
|--------|-----------------------------|
| 所在地 | 北海道札幌市菊水3条4丁目2番7号 |
| 電話/FAX | 011-811-4174/011-831-4635 |
| URL | http://www.higuchinet.co.jp |
| 代表者 | 代表取締役社長 樋口 晃 |
| 設立 | 1955年 |
| 資本金 | 8,800万円 |
| 従業員数 | 60人 |



会社概要

同社は北海道でステンレス材が広まり始めた頃より他社に先駆けてステンレス加工に取り組み、サッシ、シャッター、各種タンク、ステンレス建築金物等を手掛けてきたメーカー。主力商品であるステンレスキッチンは北海道内で「スズランキッチン」というブランドで知られている。札幌市内・江別市内の2カ所に製造拠点をもち、函館・旭川・帯広には営業所を設置。本社隣接地には同社が手掛けるシステムキッチンが展示されるショールームを併設。



代表的な商品「TERRA」

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ デザイン性に優れたキッチンの製造により付加価値の底上げを実現

同社は設立当初からステンレス材を加工し、様々な商品を作ってきた経緯から技術力に強みを有する。キッチン市場は人口減少や建物寿命の長期化に伴い競争激化が予想されているが、同社はその高い加工技術を活かし、現在の多様化する顧客ニーズに対応。

具体的には、デザイン性（ステンレス材の持つ光沢や緻密な曲げ工程を施した天板等）に優れたキッチンを製造することで製品の付加価値向上を図っている。



同社開発の新型キッチン

▶▶▶ 各種先端加工機の導入により多様な顧客ニーズに合った製品製造を実現

顧客ニーズは多様化しており、同社が受注する製品も多品種小ロットとなっている。また、各製品に要する製造工程は複雑化し、要求される加工技術も高いものとなっている。様々な顧客ニーズへの対応、コスト抑制、品質確保、納期順守を図るため、同社では各工場にレーザー加工機、プレス機等の先端加工機を導入。定期的な更新を行っている。また、技術職員については日々様々な製品加工を通じて技術力の向上を図っている。



更新した生産設備

▶▶▶ 幅広いステンレス製品製造の実績により培った技術力と信頼

ステンレス材が北海道に持ち込まれ広まり始めた頃よりステンレス加工に取り組んできた会社。一般家庭や飲食店舗で利用するキッチン、公共施設の水飲み場・浴槽、モニュメント等ステンレス材を加工して幅広い種類の製品製造を行ってきた。その実績は同社に対する確かな信頼と技術力を蓄積するものとなっており、各種設備更新や製造工程の見直しを徹底することで納期厳守、品質の確保を実現し同業他社との差別化を図っている。



ステンレス加工工程